

あとがき

日本では世界の標準治療薬の30%は使用できないといわれているが、その一方で日本でしか通用しない薬剤や治療法がある。その1つがイチゴ状血管腫に対するレーザー治療である。イチゴ状血管腫は自然に消退するため、その治療の原則は今でも wait and see である。しかし近年日本では、早期にレーザー治療をすべきだと、まことしやかに本や雑誌に記載されていて、このような教育もされている。確かに単純性血管腫にはレーザー治療が世界標準治療になっているが、イチゴ状血管腫に早期からレーザー治療を行ったほうがよいというエビデンスはない。Rook の教科書では、イチゴ状血管腫に対するレーザー治療は賛否両論があると記載されているが、それは公正を期すために英語で書かれた日本からのプラセボを置かない治験論文も引用しているからである。しかし、イチゴ状血管腫はレーザー治療をしなくてもやがて退縮するので、数年すると未治療部位との差がなくなり、むしろ何回もレーザー治療を行ったほうが瘢痕などの副作用が目立つ、というプラセボとの比較試験論文が数編ある。そのため Rook の教科書では、残存したイチゴ状血管腫や巨大なものにはレーザー治療をしてもよいが、自然消退を早めるわけではない（実際は多少消退を早める）とネガティブなコメントとなっている。実際タイからの留学生は、日本ではなぜイチゴ状血管腫にレーザー治療をするのかと不思議がっていたし、米国のレーザー治療センターの皮膚科医は、イチゴ状血管腫は wait and see で、治療をする場合はコルチコステロイドの投与であると断言している。日本ではイチゴ状血管腫はレーザー治療の保険適用があり、しかも乳幼児では医療費が無料であるため、全身麻酔下で（20年以上前から海外にある外用麻酔剤は日本では認可されていないため）、不必要なレーザー治療がたくさん行われている。このようにして日本では税金が無駄に使われている。なぜイチゴ状血管腫に保険適用があるのか、誰がそれを決めたのかいまだにわからない。日本の治療レベルは高いと信じている人は多いが、いつまでその化けの皮が剥がれずにすむのであろうか？

（渡辺 晋一）

〔編集委員〕

瀧川 雅浩
伊藤 雅章
塩原 哲夫
渡辺 晋一
天谷 雅行
中川 秀己

学会・研究会のお知らせ掲載

皮膚科関連学会・研究会のお知らせを無料で掲載いたします。開催期日（演題募集がある場合は締切日）の3か月前までに本誌編集室までお寄せください。

臨床皮膚科（第64巻第8号）

2010年7月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5 %）

（2010 年々ぎめ予約購読料 39,930 円
電子ジャーナル閲覧オプション付
52,000 円
増刊号を含む 13 冊・税込・送料小社負担）

（担当：小松原・安部）

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5715

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinhifu@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- **JCOPY** <（有）出版者著作権管理機構 委託出版物>
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、（有）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ（インターネット）は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床皮膚科」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinhifu/>